

平野治朗

金沢市生まれ。

1987年に松蔭浩之とともにArt Unit Complesso Plasticoを結成する。
このユニットはベニスビエンナーレなど国内外の主要な展覧会に出品
するなどし、90年代の現代美術界に変動を与えた。

その後、個人もしくはUnit名義にて活動。最近の主な作品としては、
水戸芸術館十周年記念「宇宙の旅」展に出品した、宇宙120億年の
記憶を映像と音で体感させる作品「120億光年」や越後妻有トリエン
ナーレ2003において国道を最長2km閉鎖し、総計1万人を動員し
おこなったお祭り規模の環境彫刻「GINGA」などがある。

水戸芸術館での作品「120億光年」以降、興味は「衣食住」「祭」
などに向かい、自らリノベーションした自邸で進行中のプロジェクト
「白光温泉-Experimental-」においては「温泉」や「入浴」という多
くの日本人が生活において大切にしている場所を、長い沐浴の歴史等
を踏まえつつ、新たな形で提案している。

〒103-0002

東京都中央区日本橋馬喰町2丁目5-17

平野 治朗

090-4115-7018

jiro@iamas.ac.jp

近年の主な活動

2003

「GINGA」シリーズ実施 渋谷川において全長300メートルの環境彫刻展示
渋谷、東京
「第2回大地の芸術祭」 ECHIGOTSUMARI ART TRIENNIAL 2003に参加
1.5kmの環境彫刻展示
「東京デザイナーズブロック2003」オープニング&クロージング 東京
「DUMBO Art Festival」 ニューヨーク、USA

2004

「GINGA」シリーズ実施 JRTowers 1周年記念祭 札幌
「白い基地展」 ワコールアートセンタースパイラル 東京
「東京サウンドスケープ都バスツアー」東京路上 東京
「東京周遊WB丸ツアー」神田川、日本橋川、隅田川上 東京
「CELUX'S Enjoy」(ピニンファリーナとヴィトンのコラボスポーツカー発表イベント)
原美術館 東京
「セントラルイースト東京 (CET)-ビジョンクエスト展-」RE-KNOW 東京
「Cafe In 水戸展」エンディングイブイベント 水戸芸術館 水戸 茨城

「白光温泉-White Light Onsen-Vol.1」ミュージアムシティ天神 福岡
「コンプレッソ・プラスティコ2004」浅草橋WB 東京
「GINGA」シリーズ実施 上海中福会小年宮 「ゼクシィ」創刊イベント 上海 中国

2005

「GINGA」シリーズ実施 江ノ島コッキング苑および江ノ島内各所 江ノ島
「GINGA」シリーズ実施 JRTowers 2周年記念祭 札幌
「GINGA」シリーズ実施 (株)MOCイベント 上海 中国
「セントラルイースト東京 (CET)」において「白光温泉-Experimental-」実施
以降、馬喰町において不定期開催
「GINGA」シリーズ実施 アートチャンネル十和田 十和田市 青森

1987

松蔭浩之とともにComplesso Plastico (コンプレッソ・プラスティコ)を結成
コンプレッソ・プラスティコの主な活動には以下のものがある。

1989

「メタリズム」展 ワコールアートセンタースパイラル、南青山、東京

1990

ヴェネツィア・ビエンナーレ「アベルト」部門出品、ヴェネツィア、イタリア
「脱走する写真展」水戸芸術館、茨城
「日本の現代美術-ゾーンズ・オブ・ラブ」～1992までオーストラリア
ニュージーランドを巡回
「キャノンアートラボ 第1回企画展」テピア、東京

1991

UKジャパンアートフェスティバルに参加 オールドライブラリーギャラリー、
カーディフ、イギリス

個人としての主な活動

1996-2004まで岐阜県立国際情報科学芸術アカデミーに勤務

1992

「科学と復習」ONギャラリー、大阪

1993

「アナザーワールド展」水戸芸術館、茨城
「ロゴスのテーブル」ワコールアートセンタースパイラル、東京

1994

「視聴触覚教室」T-BRAIN、東京

1996

「ICC Workshop Methodology No.1～楽器とアンサンブルのいまとここ」ICC、
東京

1999

「100 Light Years」東京 名古屋
「DECODE」FREE SPACE 3、東京

2001

「120億光年」水戸芸術館開館10周年記念事業「宇宙の旅」展 出品
水戸芸術館 茨城

2002

「GINGA」シリーズ実施 野外ミュージックフェス「メタモルフォーゼ2002」